

小学校区を構成する町丁目	青山、倉水、中里、冬父、名木		
--------------	----------------	--	--

		小学校区(a)	市全体合計(b)	割合(a/b)	
面積		5.72 (km <sup>2</sup> )	213.84 (km <sup>2</sup> )	2.68 (%)	
人口・家屋の分布状況	人口	749 (人)	132,404 (人)	0.57 (%)	
	人口密度	130.86 (人/km <sup>2</sup> )	619.17 (人/km <sup>2</sup> )	-	
	男女別人口	男	371 (人)	66,487 (人)	0.56 (%)
		女	378 (人)	65,917 (人)	0.57 (%)
	世帯数	246 (世帯)	27,819 (世帯)	0.88 (%)	
	0歳以上～15歳未満	286 (人)	59,910 (人)	0.48 (%)	
	15歳以上～65歳未満	60 (人)	18,647 (人)	0.32 (%)	
	65歳以上～	443 (人)	85,938 (人)	0.52 (%)	
	65歳以上の独居者	4 (人)	1,107 (人)	0.32 (%)	
	避難行動要支援者	31 (人)	2,279 (人)	1.35 (%)	
外国人居住者	7 (人)	3,977 (人)	0.18 (%)		
建物分布状況	建物棟数	768 (棟)	56,677 (棟)	1.36 (%)	
	木造(S55以前)	183 (棟)	13,866 (棟)	1.32 (%)	
	木造(S56以降)	438 (棟)	29,933 (棟)	1.46 (%)	
	RC・SRC造	19 (棟)	2,236 (棟)	0.85 (%)	
	S造	99 (棟)	9,453 (棟)	1.05 (%)	
	その他	30 (棟)	1,189 (棟)	2.50 (%)	
密集度	134.28 (棟/km <sup>2</sup> )	265.04 (棟/km <sup>2</sup> )	-		

自主防災組織結成状況	組織数	3	世帯数	55	結成率	0.22 (%)
------------	-----	---	-----	----	-----	----------

防災関連施設	消防本部・消防署・分署	大栄消防署下総分署					
	消防団	第9分団第5部					
	警察署・交番・駐在所	-					
	市役所・支所・事務所・集会所等	-					
		種別	箇所数	種別	箇所数	種別	箇所数
	防災井戸	0	給水栓	0	給水拠点	0	
	防災倉庫	0	資材置場	0	水防倉庫	0	
	消防団器具庫	1	AED設置施設	0	災害拠点病院	0	
	病院・診療所	0	歯科医院	0	福祉施設	5	
	保育所・幼稚園等	0	水位観測所	0	雨量観測所	0	
	防災行政無線屋外子局	6	ヘリコプター臨時離発着場	0	ドクターヘリ臨時離発着場	1	
	震度計	0	郵便局	0	公園	0	

避難施設	種類				施設名称	収容人数(人)	
	指定緊急避難場所	指定避難所	自主避難所	福祉避難所		指定緊急避難場所	指定避難所
●		●			旧名木小学校	1,504	-
				●	名木の里	-	-
				●	しもふさ学園	-	-
収容人数合計						1,504	0

洪水被害想定	利根川浸水想定区域			根木名川浸水想定区域		
	小学校区(a)	市全体合計(b)	割合(a/b)	小学校区(a)	市全体合計(b)	割合(a/b)
浸水面積(km <sup>2</sup> )	0.25	38.43	0.66 %	0.00	16.17	0.00 %
浸水する建物数(棟)	17	5,565	0.31 %	0	1,428	0.00 %
避難の対象者数(人)	22	6,025	0.36 %	0	2,238	0.00 %

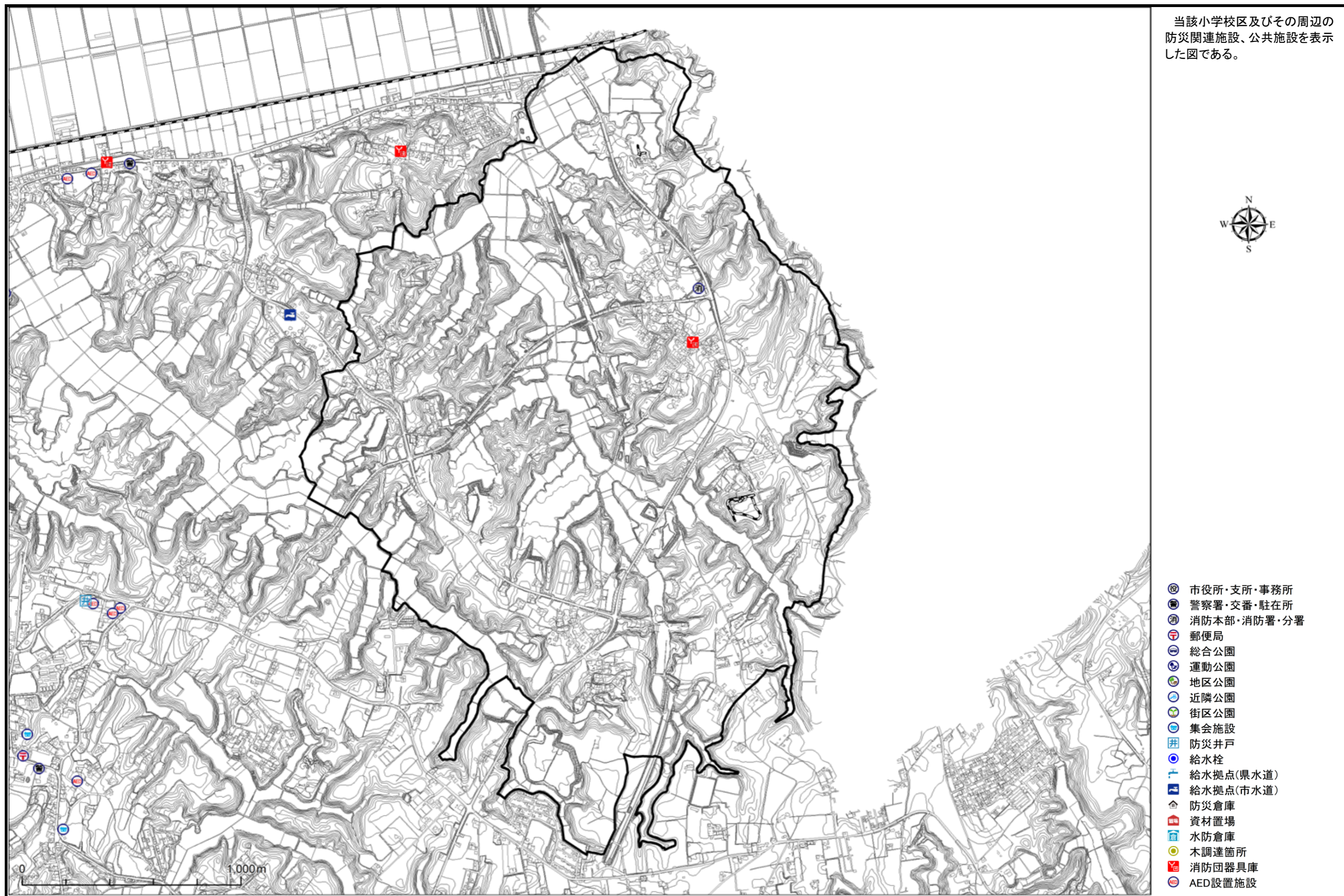
土砂災害被害想定	箇所数(箇所・地区)		重なる面積(ha)		重なる建物数(棟)		避難の対象者数(人)	
	I	II	III	IV	V	VI	VII	VIII
急傾斜地崩壊危険箇所	1	0	0	0	15	0	14	0
土砂災害警戒区域	0	0	0	0	0	0	0	0
うち特別警戒区域	0	0	0	0	0	0	0	0
山腹崩壊危険地区	1	0	0	0	0	0	0	0

地震被害想定結果	震度階級					液状化危険度								
	5弱	5強	6弱	6強	7	PL=0	0<PL≤5	5<PL≤15	15<PL					
面積(km <sup>2</sup> )	0.00	0.00	5.31	0.42	0.00	4.18	1.55	0.00	0.00					
建物被害(棟, 出火件数のみ件)					人的被害(人)									
小学校区(a)					市全体合計(b)					割合(a/b)				
木造 全壊	17	1,779	0.98 %	死者数	0	16	0.98 %							
木造 半壊	70	5,752	1.21 %	負傷者数	18	1,471	1.20 %							
非木造 全壊	8	300	2.81 %	重傷者数	2	198	1.02 %							
非木造 半壊	3	232	1.25 %	軽傷者数	16	1,273	1.22 %							
出火件数	0	5	1.10 %	要救助者数	0	66	0.49 %							
焼失棟数	0	17	1.09 %	避難者数	30	18,189	0.17 %							
上水道断水人口(人)					下水道支障人口(人)									
小学校区(a)					市全体合計(b)					割合(a/b)				
断水人口	0	37,668	0.00%	支障人口	2	3,341	0.07 %							

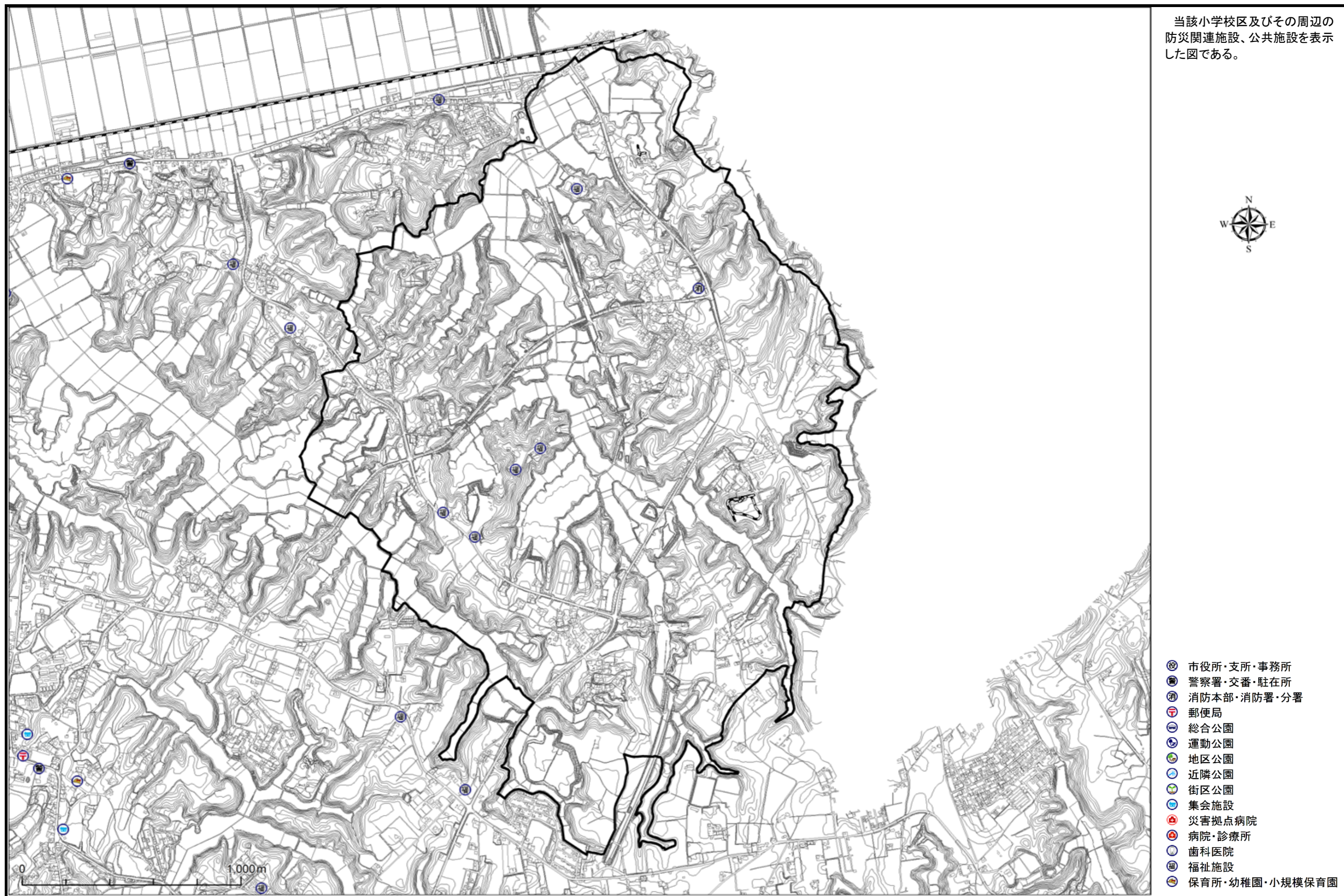










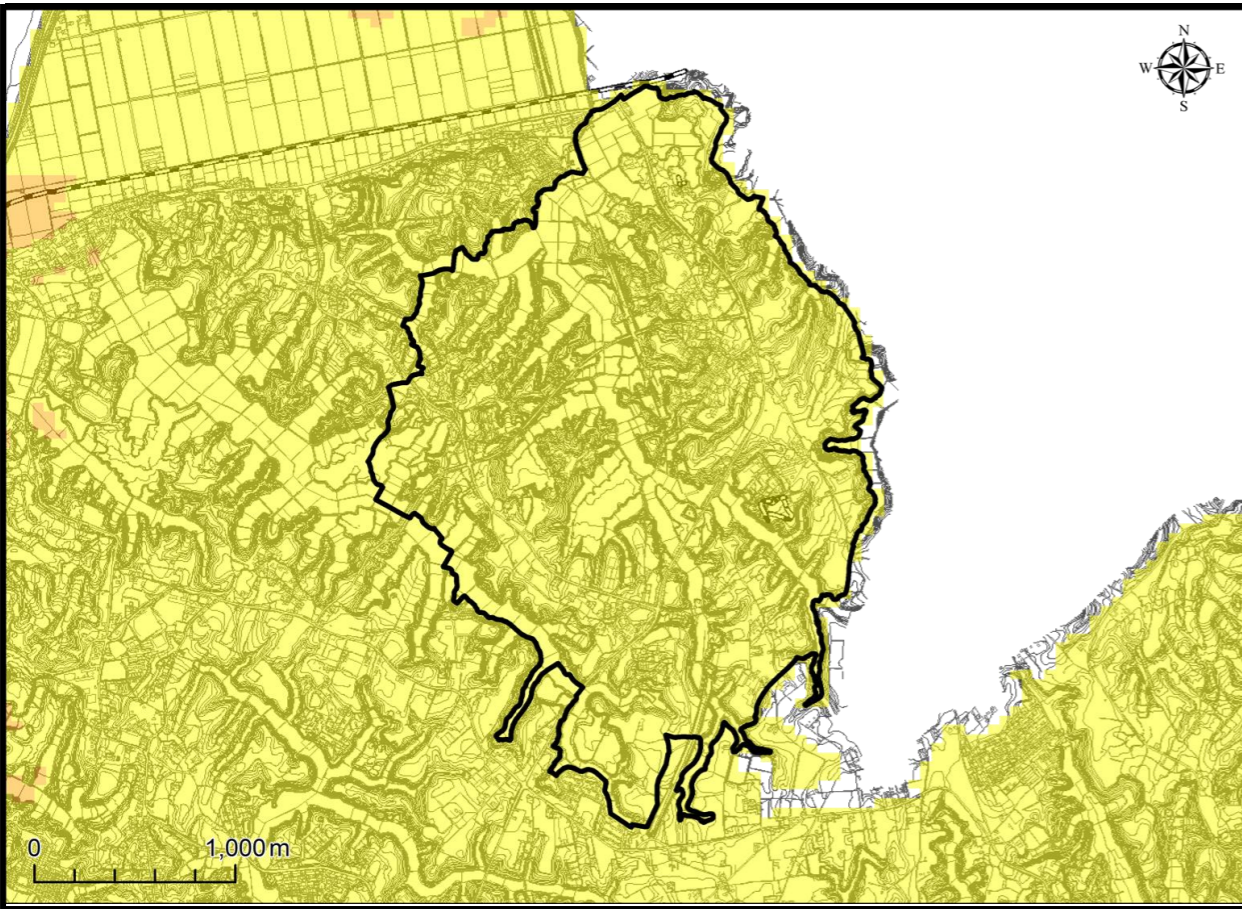




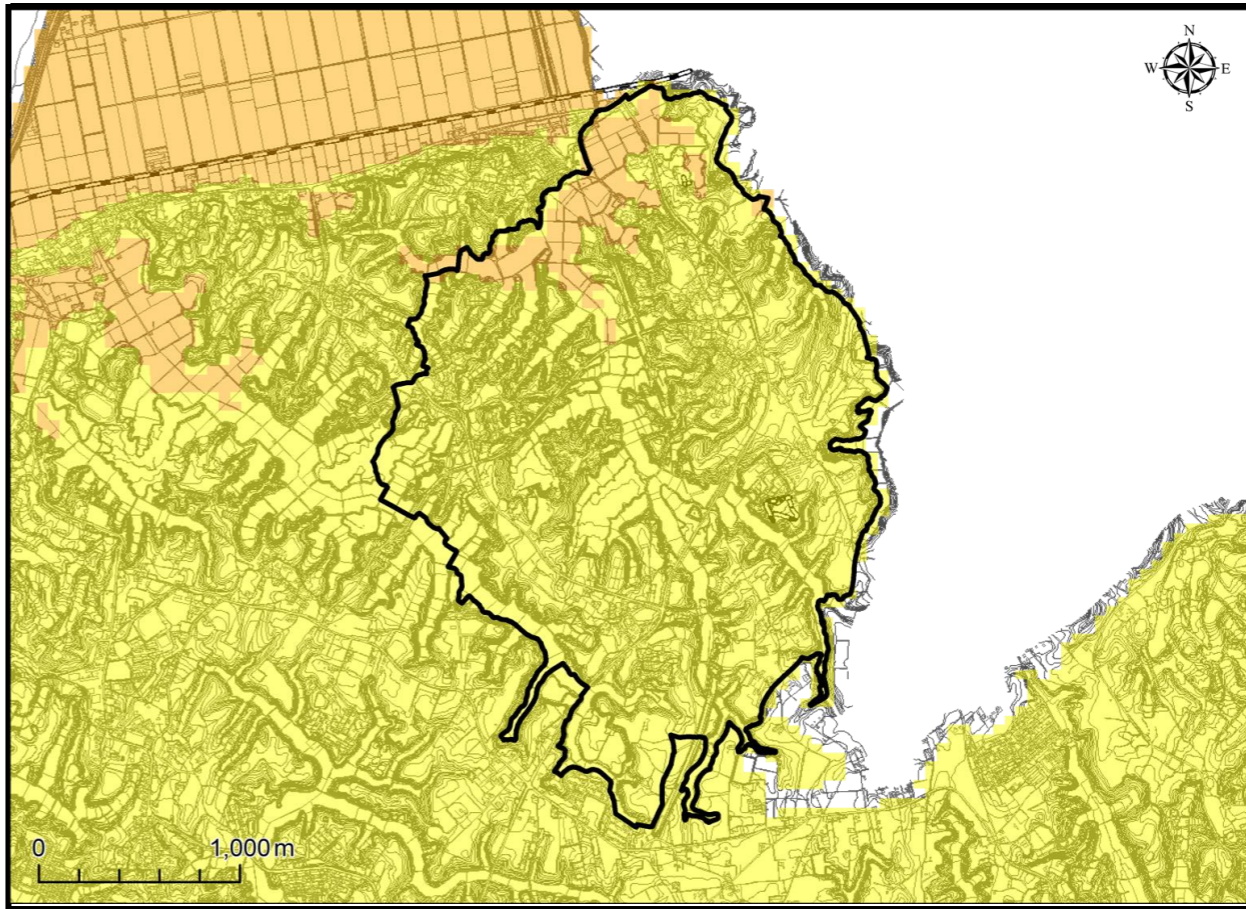




●想定震度階級 (A. 千葉県北西部直下地震)



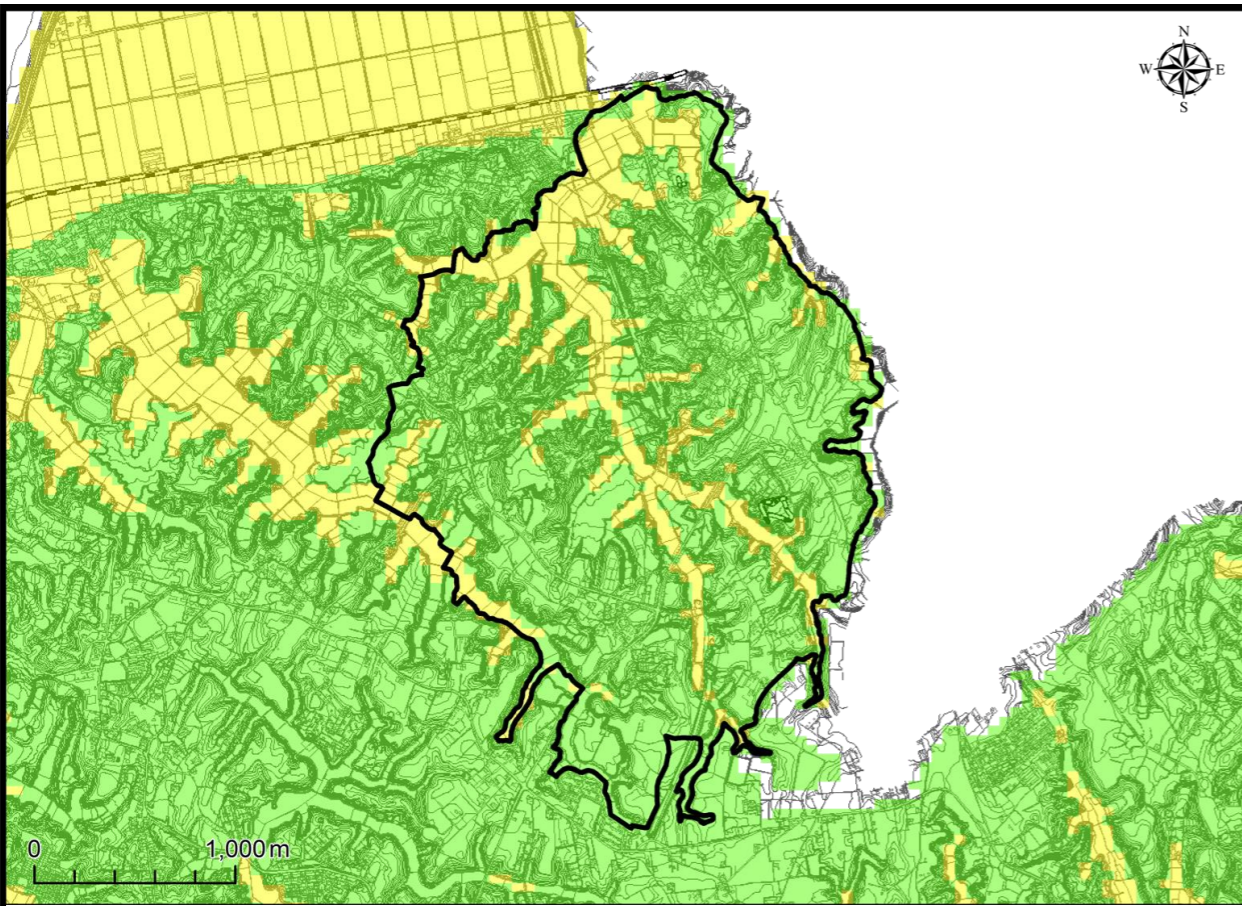
●想定震度階級 (B. 成田空港直下地震)



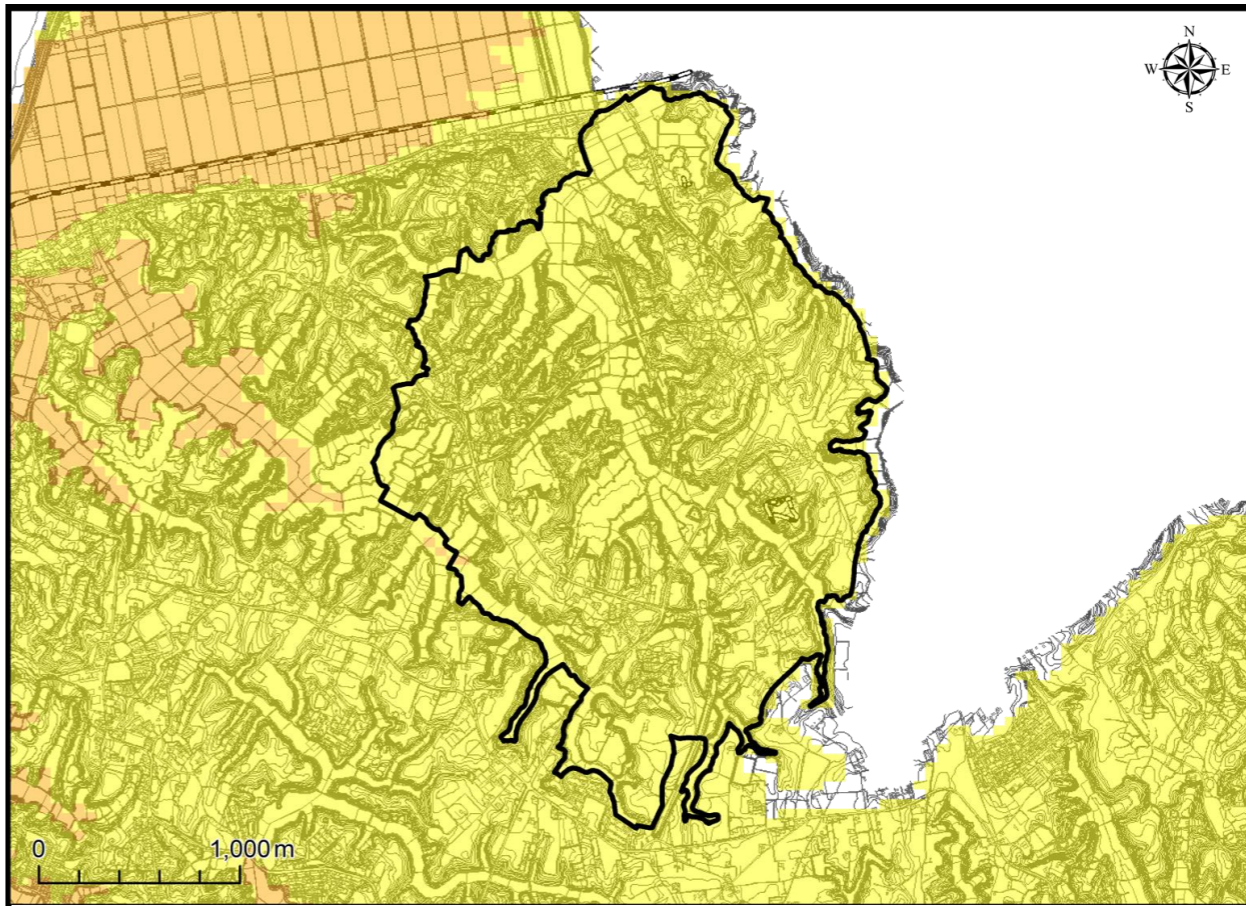
当該小学校区の震度階級を、想定地震別に50mメッシュで表示した図である。

なお、震度は、地盤条件、地震の規模(マグニチュード)や震源の深さ、震源からの距離等によって異なる。このため、相対的なゆれの強さは地震によって異なる。

●想定震度階級 (C. 茨城県南部地震)



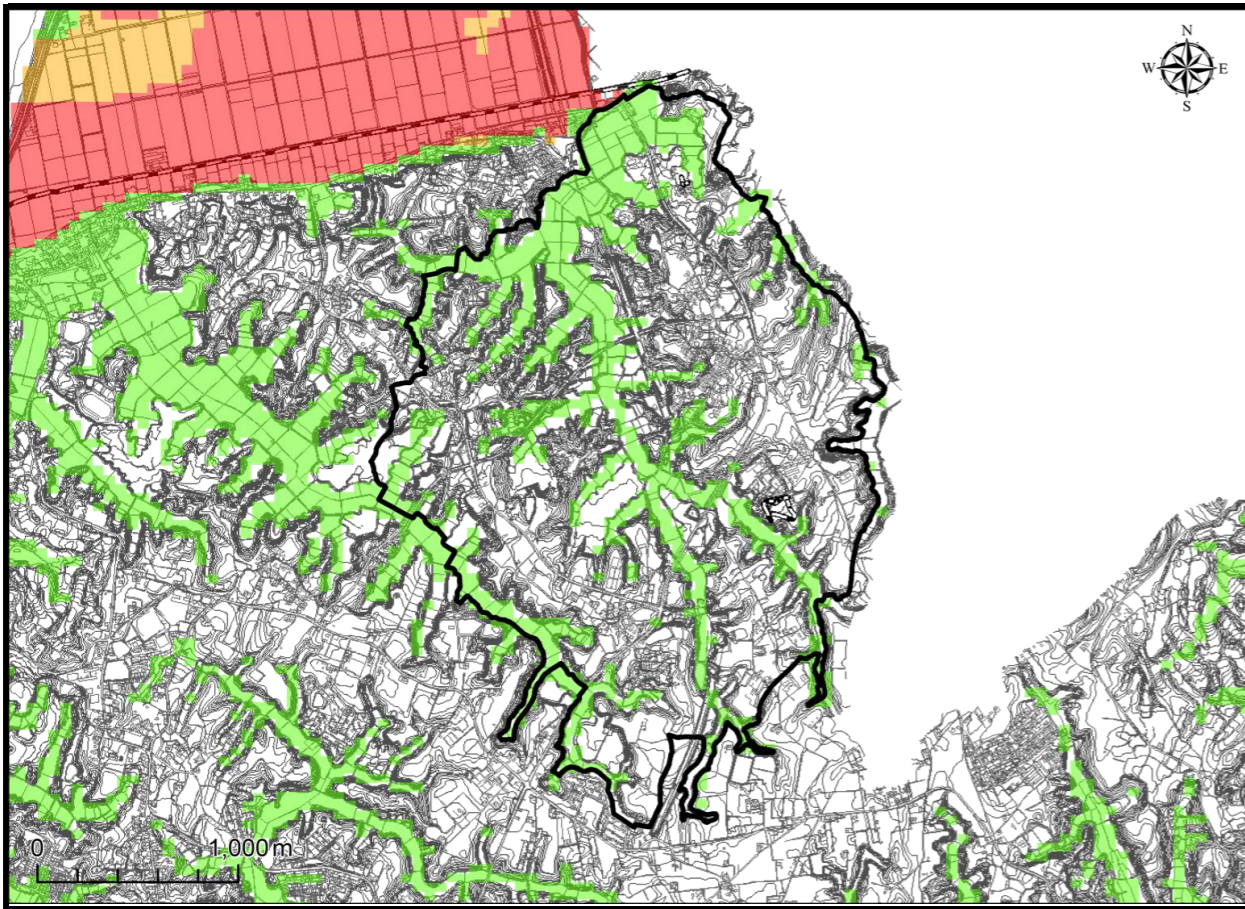
●想定震度階級 (D. 成田市直下地震)



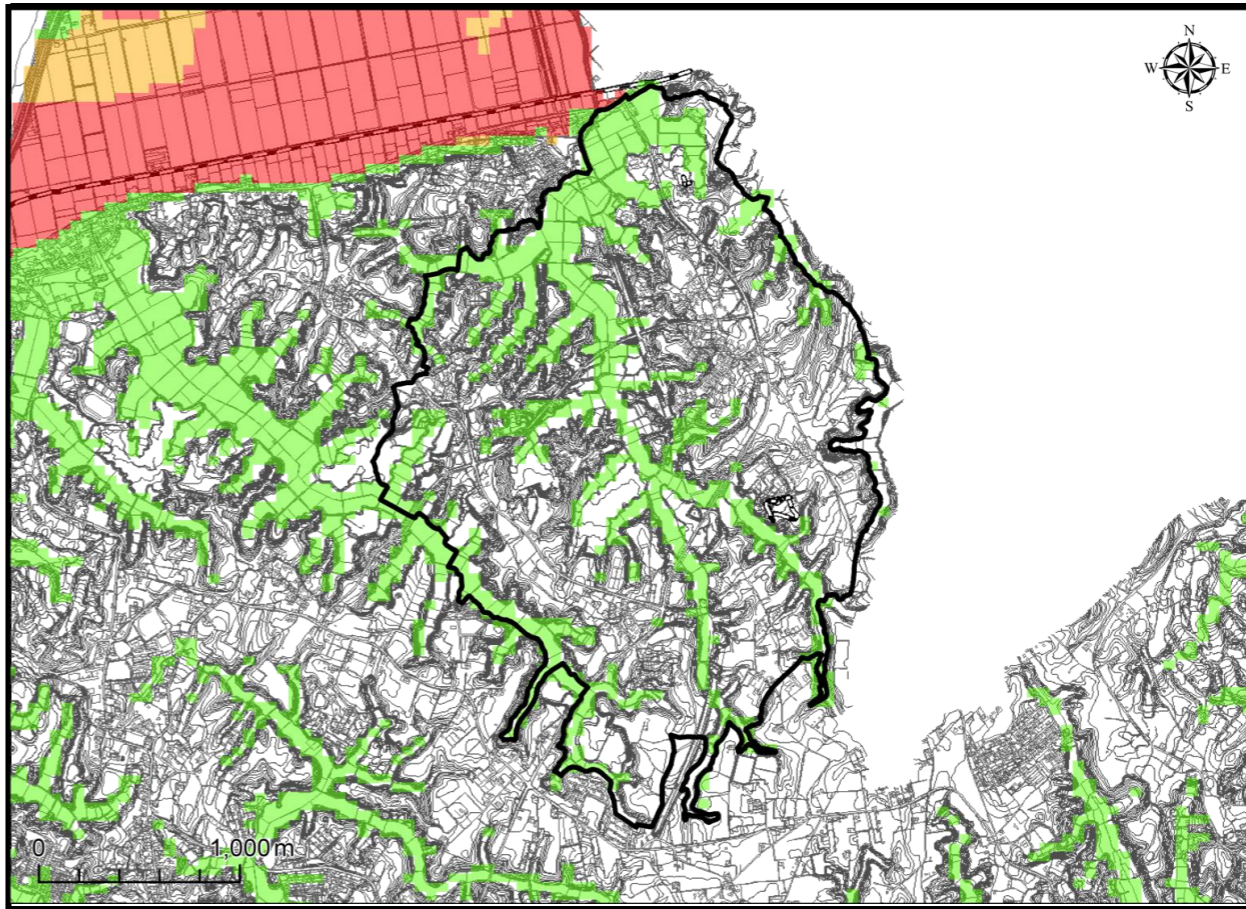
- 凡例
- 震度階級
- 5強
  - 6弱
  - 6強
  - 7



●想定液状化危険度 (A. 千葉県北西部直下地震)

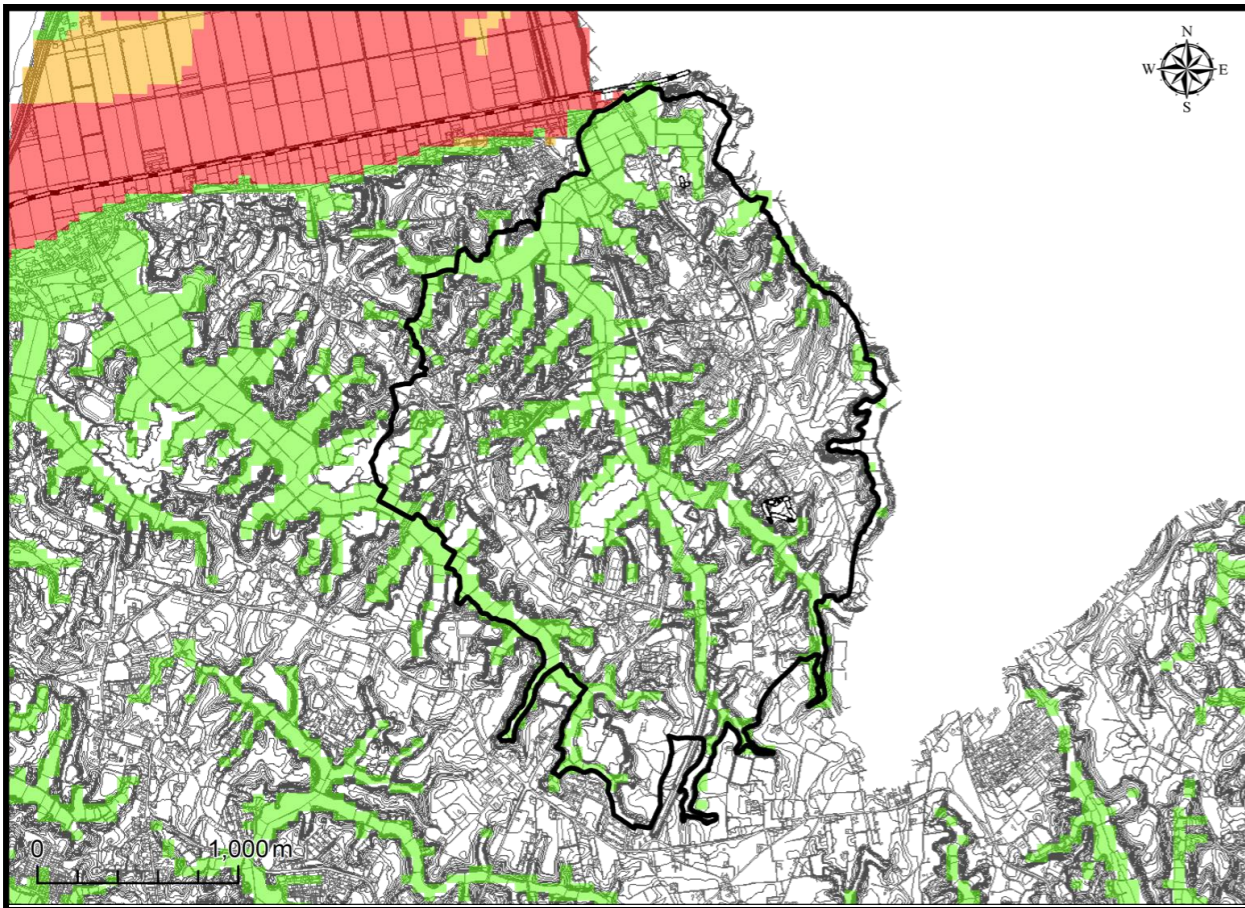


●想定液状化危険度 (B. 成田空港直下地震)

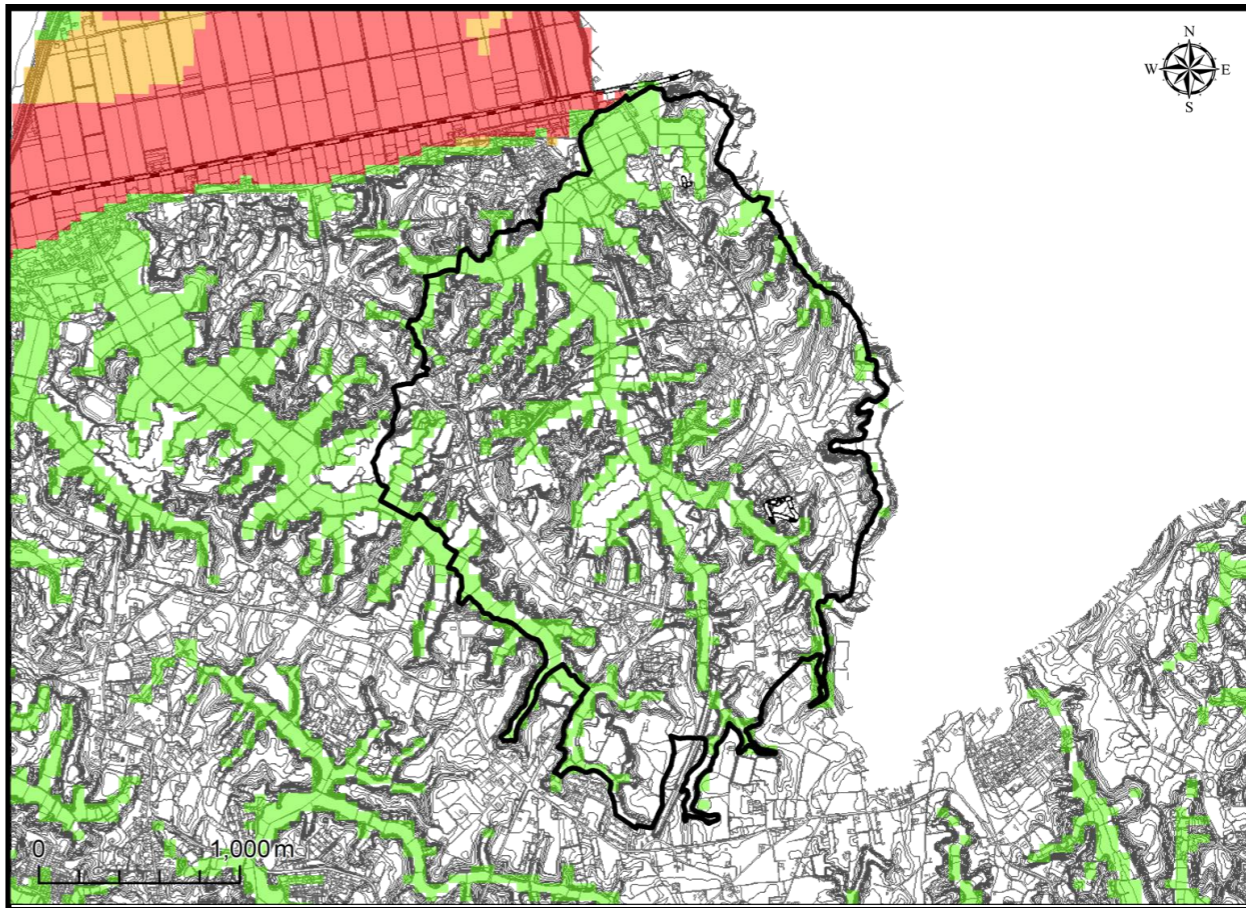


当該小学校区の液状化危険度を、想定地震別に50mメッシュで表示した図である。PL値が大きいほど、液状化危険度は高い。

●想定液状化危険度 (C. 茨城県南部地震)



●想定液状化危険度 (D. 成田市直下地震)



凡例

PL値

15 < PL

5 < PL ≤ 15

0 < PL ≤ 5

PL = 0



